

□ アナリスト週間相場予想

		
江崎		
西		

Pick up News

〔注目スケジュール〕

- 7/25 米耐久財受注、米新築住宅販売件数、CFTC建玉明細
- 29 米消費者信頼感指数
- 30 米ADP雇用統計
- 31 米第2Q・GDP速報、米新規失業保険申請者件数
- 米シカゴ購買部協会景況指数
- ユーロ圏消費者物価指数
- 8/1 米雇用統計、CFTC建玉明細

□ テクニカル分析（担当：西 勝之）



チャートは東京金先限日足である。まずボリンジャーバンドでみると7/23に1σのラインを綺麗な陰線でブレイクダウンし終値ベースで6月半ばからの上昇トレンドを踏み外したことがわかる。次に単純パターンで見ると7/17の安値3274円をネックラインとしたWTトップを昨日完成、同時にボリンジャーの中心線(20日移動平均線)を割り込み下降に転じた事が伺える。そして現在は中段の持合を形成しつつある。さて今後の展開であるが、目先は7/9安値3194円のサポートを試しに行くであろう。それを割り込むと上昇時のブレイクポイントである3100円台前半までチャート上のはっきりした支持帯は無い。今後1週間はとりあえず3100円台前半を目標ラインに置いて売り方針。

白金は日足にボリンジャーを被せると金とは全く別のチャートが見える。7/15を起点とした綺麗な下降バンドウォークを出現しており、未だ-2σに戻っては売られるというサイクルの中にある。白金については「トレンドは継続する」のテクニカル分析原理に従って追従するしかないのが現状であろう。

(7/25 前引け現在)

□ ファンダメンタル分析（担当：江崎 和弘）

懸念されていた一連の米金融機関決算も大方の予想の範囲内に留まり、米景気に対する悲観的な見方はやや後退した。米証券取引委員会(SEC)が金融株に対して空売り規制をかけたことも株高に寄与し、かろうじて危機を封じ込めた格好である。金融機関の損失の絶対額が大きいことで、にわかには喜べないとは言え、米ドルの売り圧力も緩和し、これが原油相場の調整を呼び込んでいる。

加えて、昨日発表された独IFO指数は市場予想を上回る悪さとなって、ユーロ圏にも景気悪化の影がちらついている。これまでのユーロと米ドルの力関係が微妙に揺らぎ出したタイミングと同じくして、ニュージーランドが予想外の利下げを敢行、これがクロス円売りのきっかけとなっている。為替市場では、これまでのドル一人負けの様相が徐々に変化してきている。高金利および資源国通貨に対するドル売りが止まれば、対ユーロでの買い戻しも一段と進められる公算が高い。こうした動きは金相場にとっては逆風である。

本日以降も米経済指標の発表は続き、1日の雇用統計にて一巡する。これらの内容から8/5、そして9/16のFOMCにおける金融政策への見方が定まってくる。今のところ5日の会合では金利据え置き、9月の会合での利上げが織り込まれつつある。金利先物の値動きからは、年内に一度の0.25%の利上げを完全に織り込んではいないものの、その時期は定まっていない。9月利上げに対する外堀が埋まるようであれば、一段のドル買い支援要因となる。どちらかと言えば、こうしたシナリオを重視し、貴金属相場は戻り売りの流れが強まるものと見ておきたい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)